

**4K 放送用カメラ対応フィールドズームレンズのラインアップを拡充  
高い機動性を備えた中望遠レンズ “UHD-DIGISUPER 66” を発売**

キヤノンは、4K 放送用カメラに対応するフィールドズームレンズ “UHD-DIGISUPER 66” を 2018 年 8 月下旬より発売します。



UHD-DIGISUPER 66

新製品は、2/3 型センサーを搭載した 4K 放送用カメラに対応する光学性能でありながら、倍率 66 倍で焦点距離 600mm の中望遠撮影に対応しており、幅広いシーンでの活用が可能です。また、シフト式光学防振機構の搭載に加え、従来の HDTV 放送用フィールドズームレンズと同等の機動性と運用性を兼ね備えており、屋内外でのスポーツ中継や中規模中継車などでの使用においても取り回しが良く、安定した映像を提供することができます。キヤノンは、4K 放送用カメラに対応するフィールドズームレンズのラインアップを拡充することで、幅広いユーザーの要望に応えていきます。

**■ 4K 放送用カメラに対応する優れた光学性能と実用的な焦点距離**

画面の中心部から周辺部に至るまで 4K 放送用カメラに対応する優れた光学性能を持ちながら、広角 9mm から望遠 600mm の焦点距離に対応しており、66 倍ズームを実現しています。さらに、焦点距離を 2 倍に引き上げるエクステンダーをレンズ本体に内蔵し、望遠端 1200mm までの撮影領域でも、4K 放送用カメラに対応した高精細な映像の撮影が可能です。

**■ HDTV 放送用フィールドズームレンズ同等の高い機動性と運用性**

4K 放送用カメラに対応する光学性能を持ち、かつ高倍率ズームが可能でありながら、従来の 2/3 型 HDTV 放送用フィールドズームレンズ同等の高い機動性を実現しており、従来の撮影スタイルを継承しながら 4K 制作への移行が可能です。また、キヤノン独自のシフト式光学防振機構を搭載しており、わずかな揺れも映像に影響を与えるシビアな 4K 撮影時においても揺れの少ない滑らかな映像を提供することができます。

製品名	希望小売価格	発売日	生産台数
UHD-DIGISUPER 66	オープン価格	2018 年 8 月下旬	5 台/月

- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノン株式会社 広報部 広報課 03-5482-3888 (直通)
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
イメージングソリューション営業部 03-3740-3304
- 報道関係者用ホームページ : e-pr.canon.jp ● 放送・業務用映像機器ホームページ : canon.jp/bctv

## <主な特長>

### 1. 2/3 型 4K 放送用カメラに対応する高い光学性能と実用的な焦点距離

- ・画面の中心部から周辺部まで 4K 放送用カメラに対応する優れた光学性能を持ちながら、焦点距離 9mm から 600mm までの 66 倍ズームを実現。広角から望遠までさまざまなシーンにおいて 4K の高精細映像が撮影可能。
- ・2 倍のエクステンダーをレンズ本体内に内蔵し、コントローラーによるボタン操作で瞬時に焦点距離を 18mm から 1200mm に切り替えることが可能。内蔵エクステンダー使用時でも全ズーム域において、4K 放送用カメラに対応する光学性能を実現。
- ・レンズのコーティング技術や鏡筒内面の反射を防ぐ設計により、ゴースト・フレアの発生を抑制。HDR<sup>※1</sup> / WCG<sup>※2</sup> に対応した抜けの良い高階調な映像表現を実現。
- ・従来の HDTV 放送用レンズとしても使用可能。

※1 High Dynamic Range の略。映像の明部と暗部の輝度差（ダイナミックレンジ）を向上させる技術。

※2 Wide Color Gamut の略。広色域。

### 2. HDTV 放送用フィールドズームレンズ同等の高い機動性と運用性

- ・4K 光学性能を持ち、かつ高倍率ズームが可能でありながら、約 250.6（幅）×255.5（高さ）×610.0（全長）mm と、従来の 2/3 型 HDTV 放送用フィールドズームレンズ同等の高い機動性を実現。従来の 2/3 型 HD 撮影スタイルを継承。
- ・フォーカス合わせが難しい、長焦点で被写界深度の浅い撮影においても、良好なフォーカス操作を実現。広角から望遠まで従来の HDTV 放送用フィールドズームレンズと同等の安定したサーボ性能を確保し、4K でのスポーツ中継撮影においても、安定した映像の提供を実現。
- ・キヤノンの HDTV 放送用フィールドズームレンズとシステムが共通であるため、現在 HD 機材で使用されているズーム／フォーカス電動駆動系のアクセサリ<sup>※1</sup> やサーボモジュール<sup>※2</sup> が引き続き使用可能。

※1 放送用スタジオ／フィールドレンズ用アクセサリであるズームデマンド「ZDJ-D02 / ZDJ-DN2 / ZDJ-P01」およびフォーカスデマンド「FDJ-D02 / FDJ-P01」に対応。

※2 「SMJ-E01」に対応。

### 3. 4K 撮影時にも優れた防振性能を実現

- ・キヤノン独自のシフト式光学防振機構を搭載しており、わずかな揺れも映像に影響を与えるシビアな 4K 撮影時においても揺れの少ない滑らかな映像が提供可能。
- ・風や振動によるレンズの揺れと、パン・チルト操作の識別を高速で行うことにより、パン・チルト操作時でも違和感なく、撮影者の意図に沿ったフレーミングが可能。

### 4. バーチャルシステムに対応した出力コネクタを標準装備

- ・焦点距離や被写体位置などのレンズ位置情報を、高精度のセンサーで読み出しを行うことができる 20pin コネクタを標準装備。実写映像と CG 映像を合成するバーチャルシステムを用いたスポーツ中継や天気予報などの映像制作に有効。

## <ご参考>

2018 年 4 月 9 日（月）から 12 日（木）まで米国ラスベガスで開催される放送・映像制作機器の展示会「NAB Show 2018」のキヤノンブースにおいて、“UHD-DIGISUPER 66”を展示します。

## <放送用レンズの市場動向>

日本や欧米諸国では、デジタルテレビ放送の普及に伴う放送機器の HD 化がほぼ完了し、近年では、4K 放送実用化に向けた取り組みが始まるとともに、4K 対応機材の導入が進行しつつあります。一方、新興国では、今後デジタル放送への完全移行が予定されている国も多くあり、HDTV 放送用機材の需要も継続して見込まれるとともに、4K 放送への関心も高まっています。  
(キヤノン調べ)

## <主な製品仕様>

<b>型名</b>		UJ66×9B ISS
<b>対応カメラ</b>		2/3 型 4K カメラ / 2/3 型 HD カメラ
<b>ズーム比</b>		66 倍
<b>焦点距離</b>		9～600mm [2 倍エクステンダー使用時 18～1200mm ]
<b>最大口径比</b>		1:1.7 (9～340mm)、1:3.0 (600mm) [2倍エクステンダー使用時1:3.4 (18～680mm)、1:6.0 (1200mm)]
<b>画角 (包括角度)</b>	<b>ワイド端</b>	56.1° × 33.4° (9mm) [2 倍エクステンダー使用時 29.9° × 17.1° (18mm)]
	<b>テレ端</b>	0.92° × 0.52° (600mm) [2 倍エクステンダー使用時 0.46° × 0.26° (1200mm)]
<b>最近接時の 撮像範囲</b>	<b>ワイド端</b>	287.9 × 161.9cm (9mm) [2 倍エクステンダー使用時 144.0 × 81.0cm (18mm)]
	<b>テレ端</b>	4.4 × 2.5cm (600mm) [2 倍エクステンダー使用時 2.2 × 1.3cm (1200mm)]
<b>最至近撮影距離</b>		3.0m
<b>外形寸法 (幅×高さ×長さ)</b>		約 250.6 × 255.5 × 610mm
<b>質量</b>		約 23.2kg